

# ヤングケアラー実態調査について

## 1 調査の目的

ヤングケアラーの実態を把握し、県全体の支援の在り方についての検討に活用する。

## 2 調査の対象, 方法等

### (1) 実施期間

令和4年9月1日から令和4年10月3日まで

### (2) 対象者

小学6年生, 中学生及び高校生（全日制・定時制・通信制）の約10%（※）

対象数：15,528人

回答数：9,441人（回収率60.8%）

※ 中学生及び高校生については、公立学校・私立学校が対象（小学6年生は公立のみ）

### (3) 実施方法

対象学校の生徒に調査票を配布して実施（書面又はWEB）

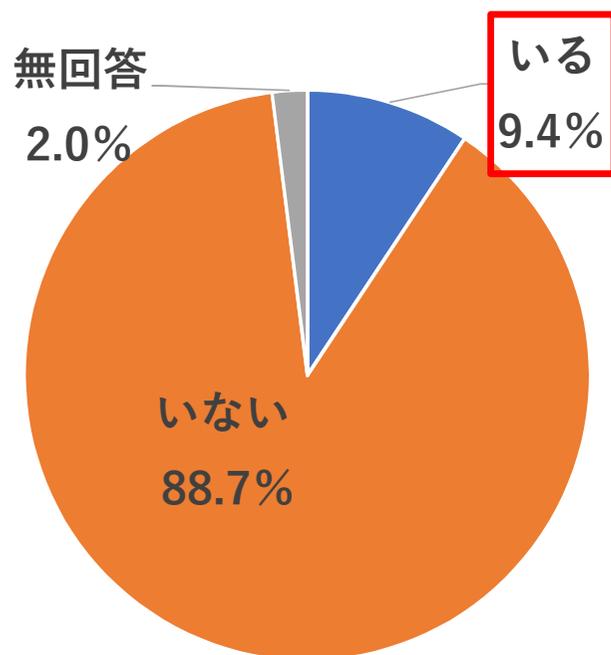
## 3 調査項目

- ・ 家族のケアの状況
- ・ 生活への影響
- ・ 支援ニーズ 等

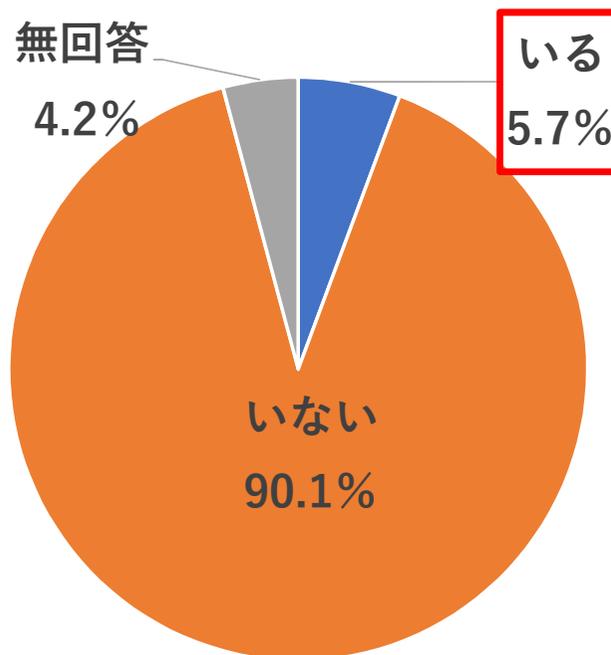
## 調査結果①(世話をしている家族の有無)

- 世話をしている家族の有無について質問。  
→ 世話をしている家族が「いる」と回答したのは小学6年生で9.4%, 中学生で5.7%, 高校生で3.8%。

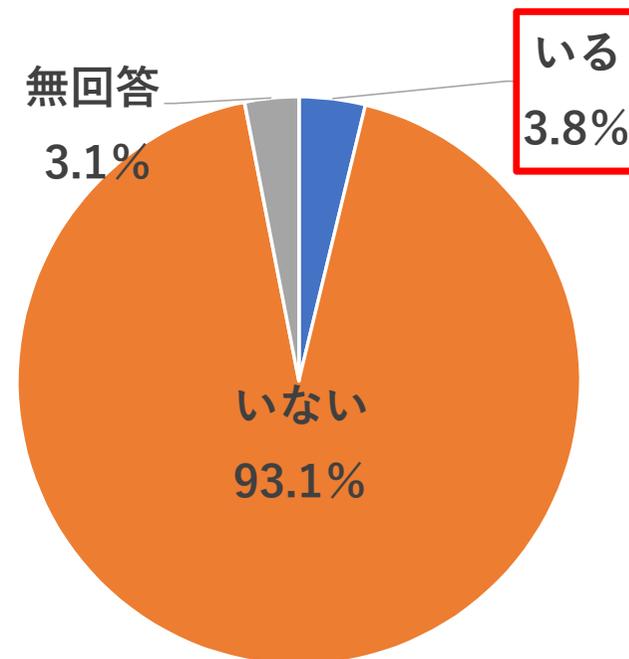
小学6年生 (n=1,433)



中学生 (n=4,155)



高校生 (n=3,853)



## 調査結果①-1(世話をしている家族の有無×学校生活等であてはまること(小学6年生))

- 世話をしている家族の有無と学校生活等であてはまることについて分析。  
世話をしている家族がいる場合は、いない場合に比べて多くの項目で割合が高くなっている。

	サンプル数 (n)	授業中に寝てしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習い事を休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特になし	無回答
世話をしている家族がいる	134	13.4%	15.7%	30.6%	5.2%	20.9%	0.7%	0.7%	6.7%	8.2%	46.3%	1.5%
世話をしている家族がいない	1,271	4.6%	8.5%	22.8%	2.1%	14.6%	0.2%	0.8%	3.6%	3.9%	63.0%	2.8%

# 調査結果①-1(世話をしている家族の有無×学校生活等であてはまること(中学生))

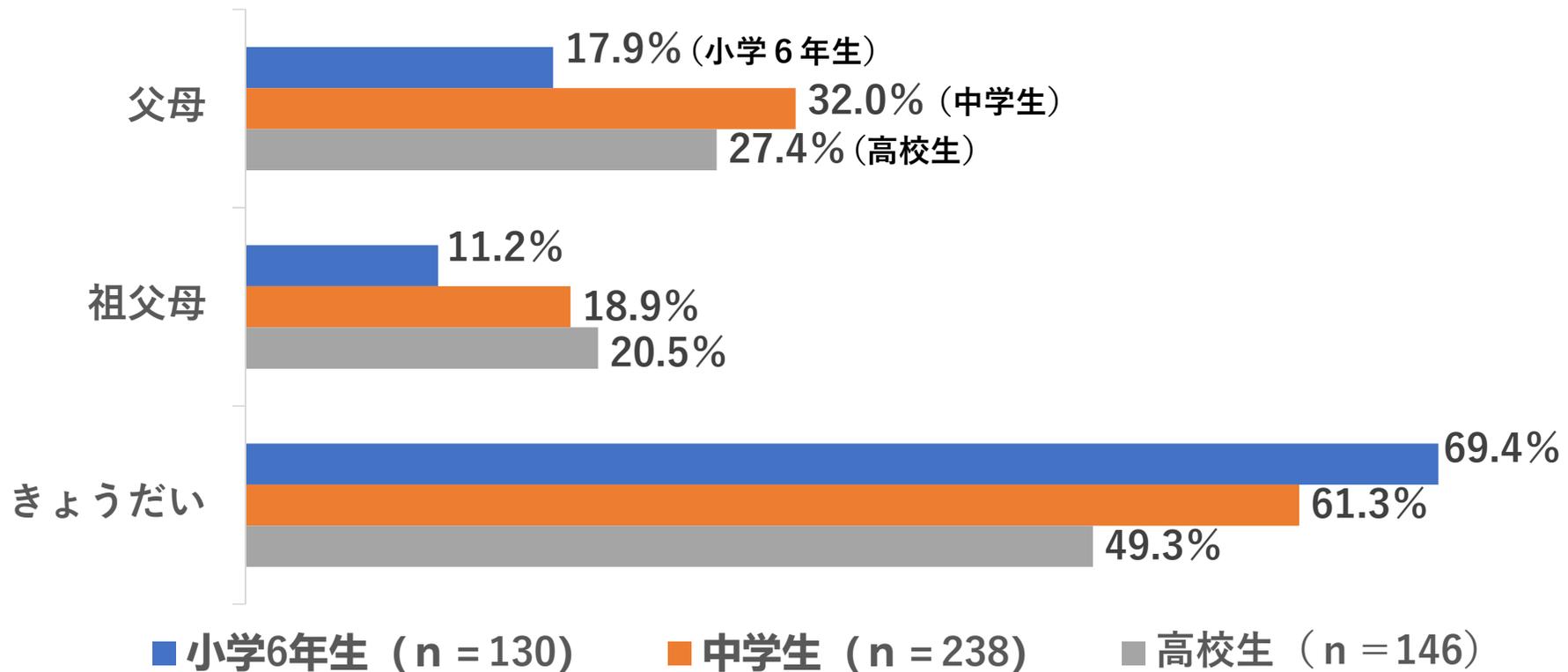
	サンプル数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特になし	無回答
世話をしている家族がいる	238	18.5%	25.6%	28.6%	8.4%	29.0%	0.8%	2.9%	5.5%	6.7%	42.0%	1.3%
世話をしている家族がいない	3,744	16.5%	17.9%	19.5%	3.5%	21.2%	0.7%	1.1%	4.9%	4.8%	54.2%	1.9%

# 調査結果①-1(世話をしている家族の有無×学校生活等であてはまること(全日制高校生))

	サンプル数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	間が少ないしやべりしたりする、お友達と遊んだりする時	特にない	無回答
世話をしている家族がいる	136	42.6%	27.9%	19.9%	3.7%	24.3%	1.5%	2.9%	5.1%	5.1%	37.5%	0.7%
世話をしている家族がいない	3,363	29.2%	18.4%	12.8%	3.2%	17.2%	0.7%	1.0%	4.3%	4.1%	49.4%	1.5%

## 調査結果②(世話をしている家族)

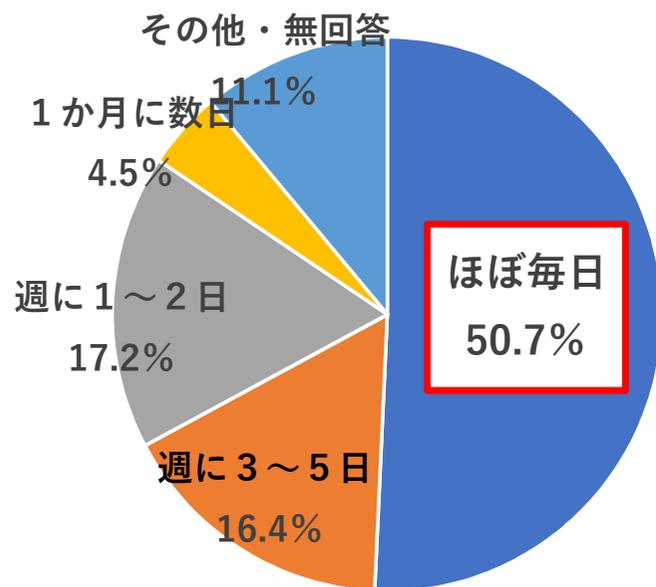
- 世話をしている家族について質問（複数回答）。  
→ 「きょうだい」が最も高い。



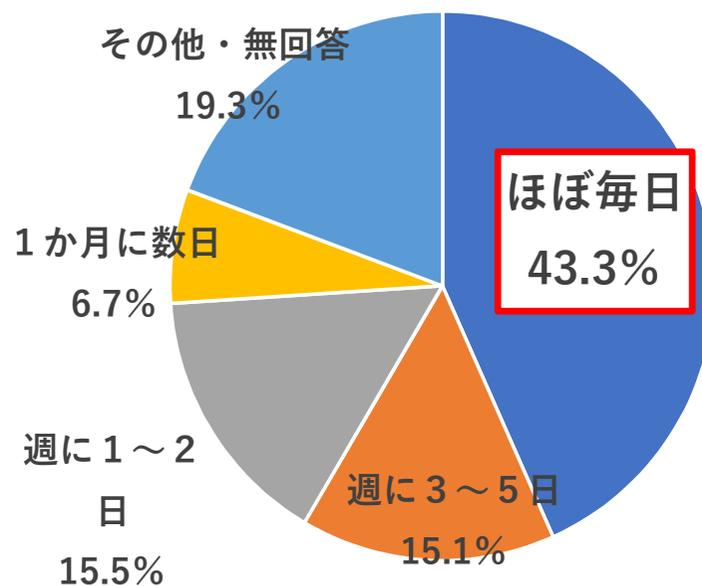
## 調査結果③(世話の頻度)

- 世話をしている頻度について質問。  
→ 「ほぼ毎日」が最も高い。

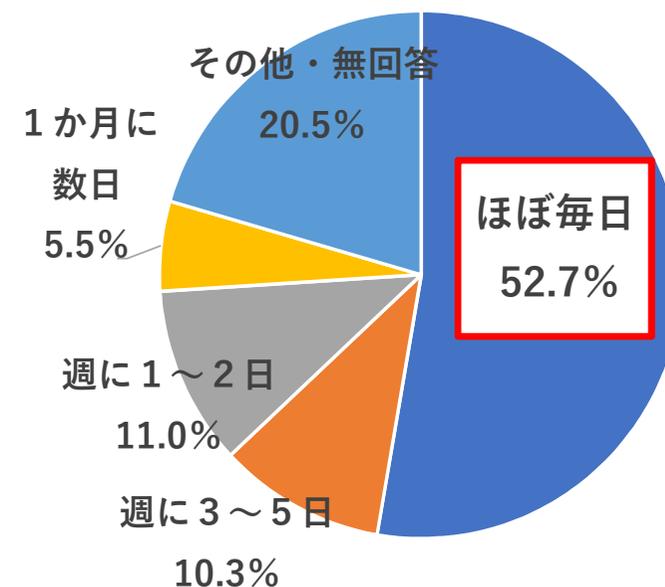
小学6年生 (N=134)



中学生 (N=238)



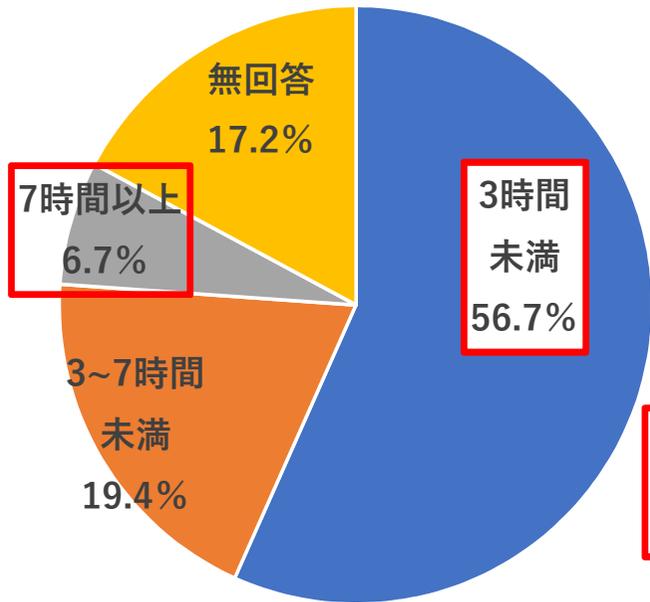
高校生 (N=146)



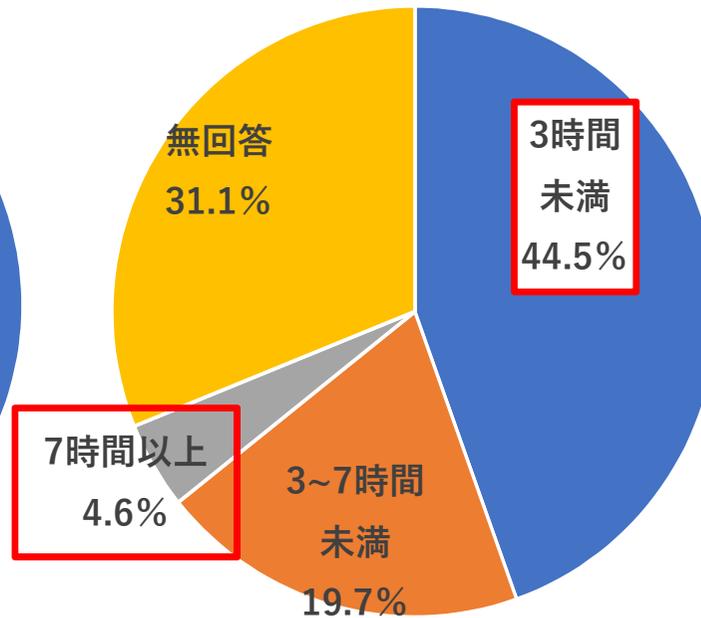
## 調査結果④(平日1日当たりの世話時間)

- 平日1日当たりの世話時間について質問。  
→ 「3時間未満」が最も高い一方で、約2～3割が3時間以上世話に費やしている。

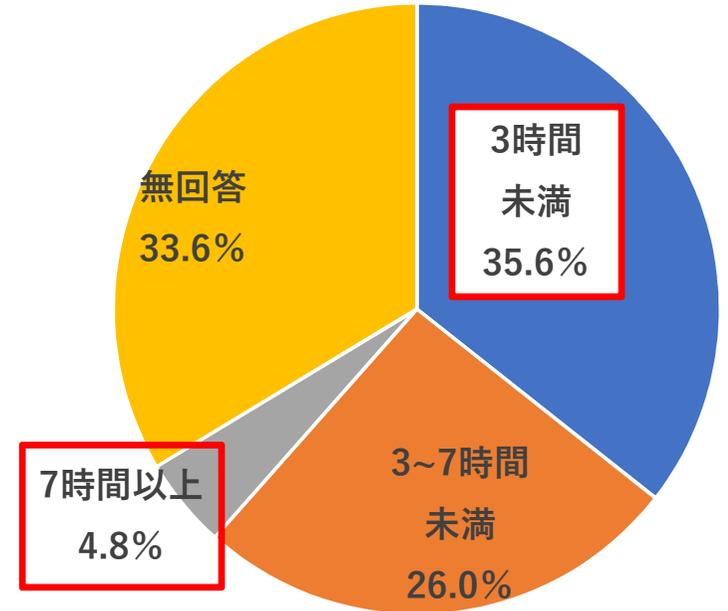
小学6年生 (n=134)



中学生 (n=238)

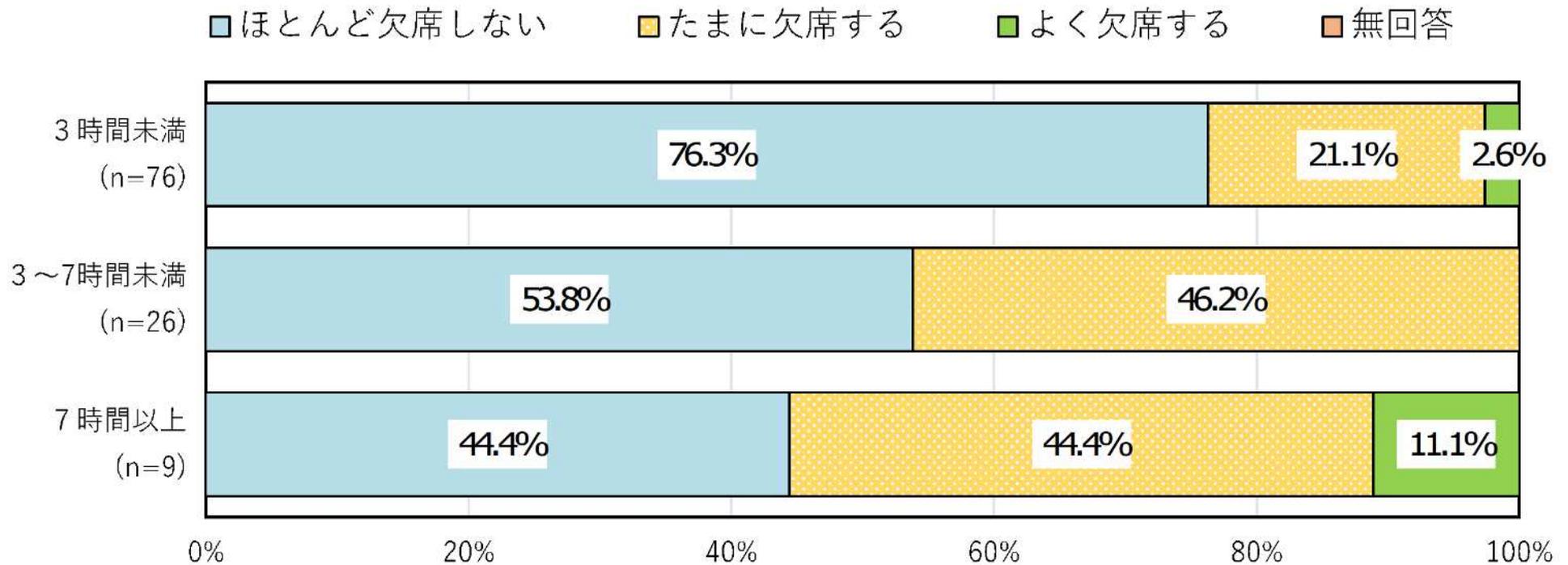


高校生 (n=146)

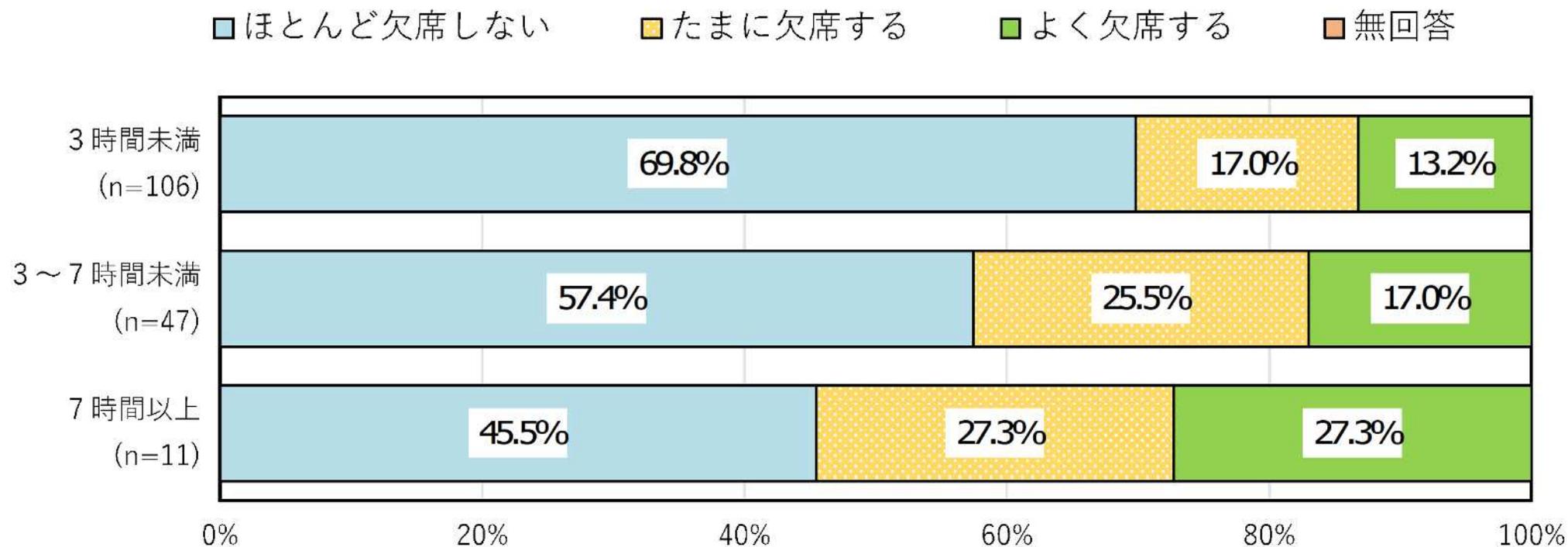


## 調査結果④-2(世話に費やす時間×欠席の状況(小学6年生))

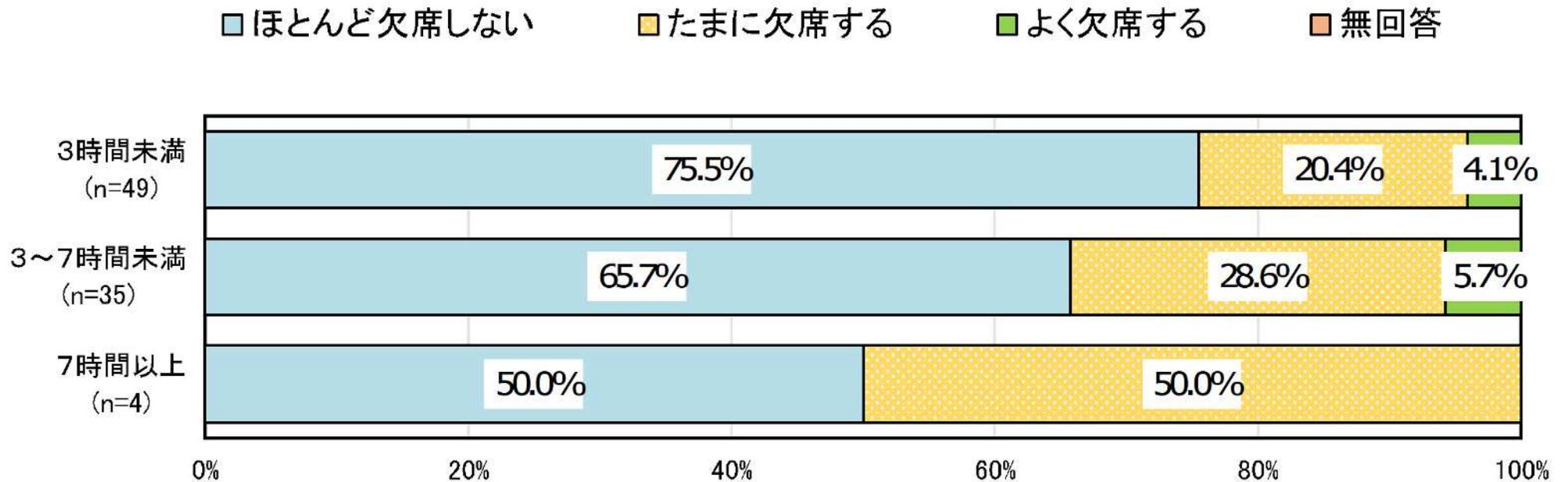
- 平日1日当たりの世話時間と学校の欠席状況について分析。  
世話時間が長いほど、欠席の割合が高くなっている。



## 調査結果④-2(世話に費やす時間×欠席の状況(中学生))

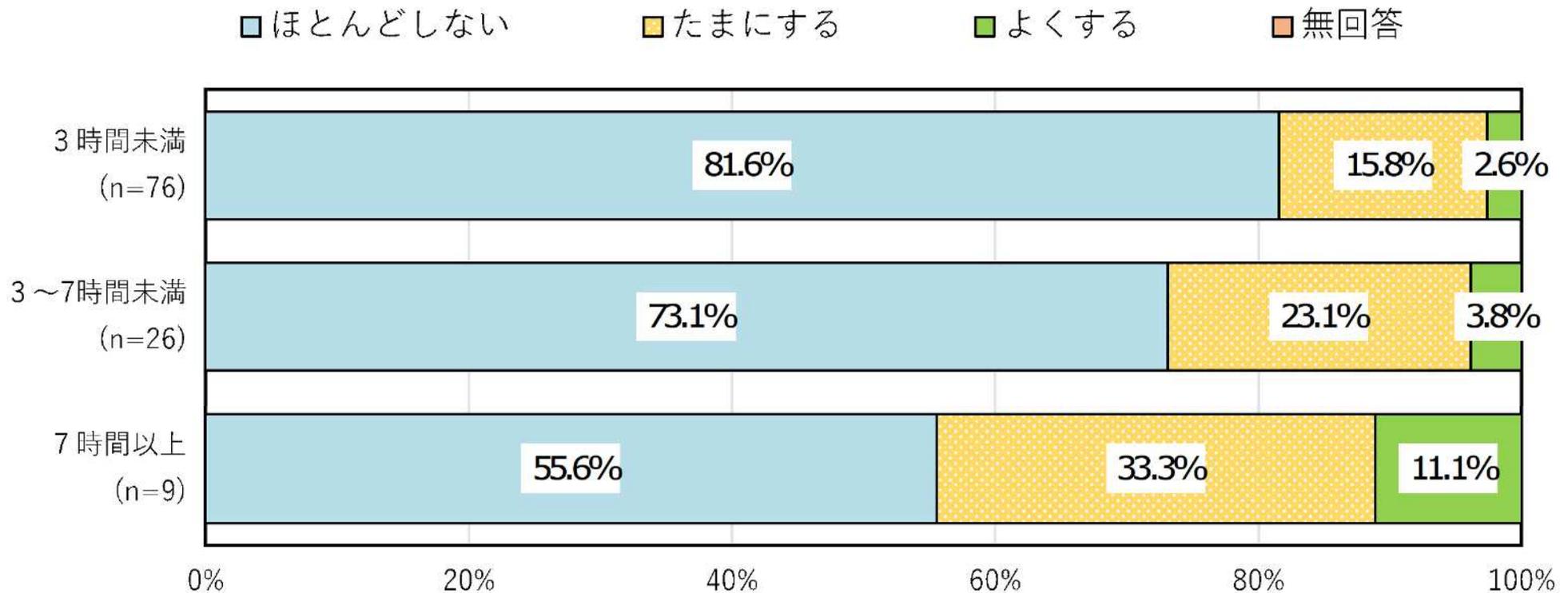


## 調査結果④-2(世話に費やす時間×欠席の状況(全日制高校生))

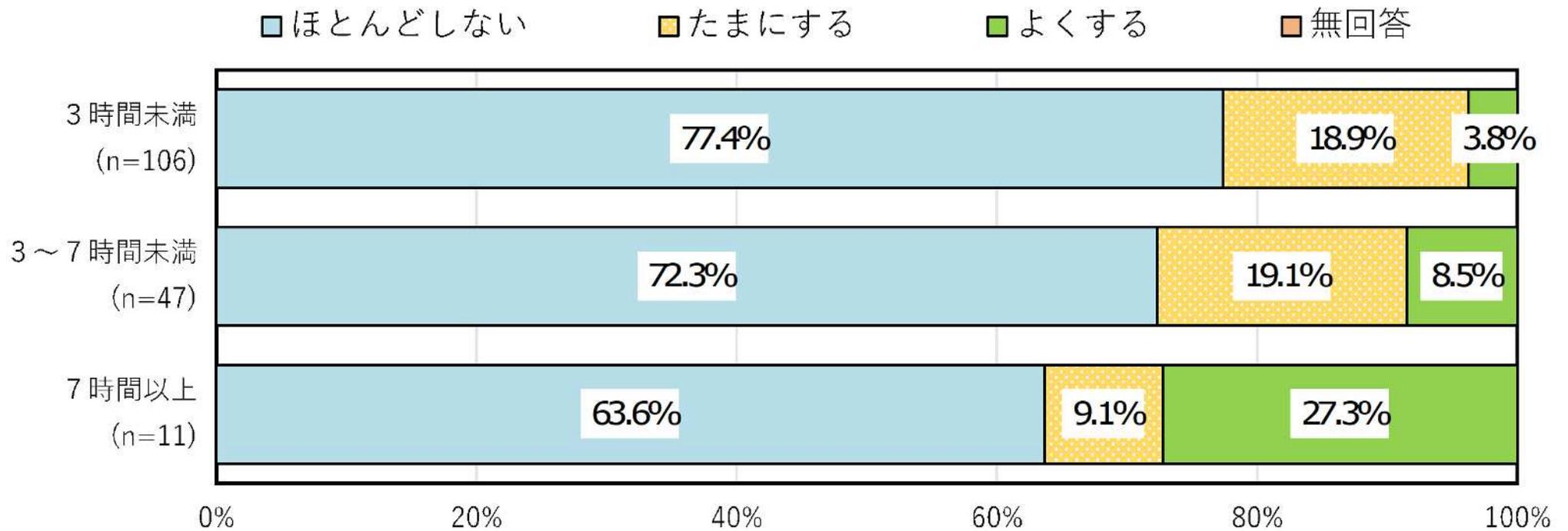


## 調査結果④-3(世話に費やす時間×遅刻・早退の状況(小学6年生))

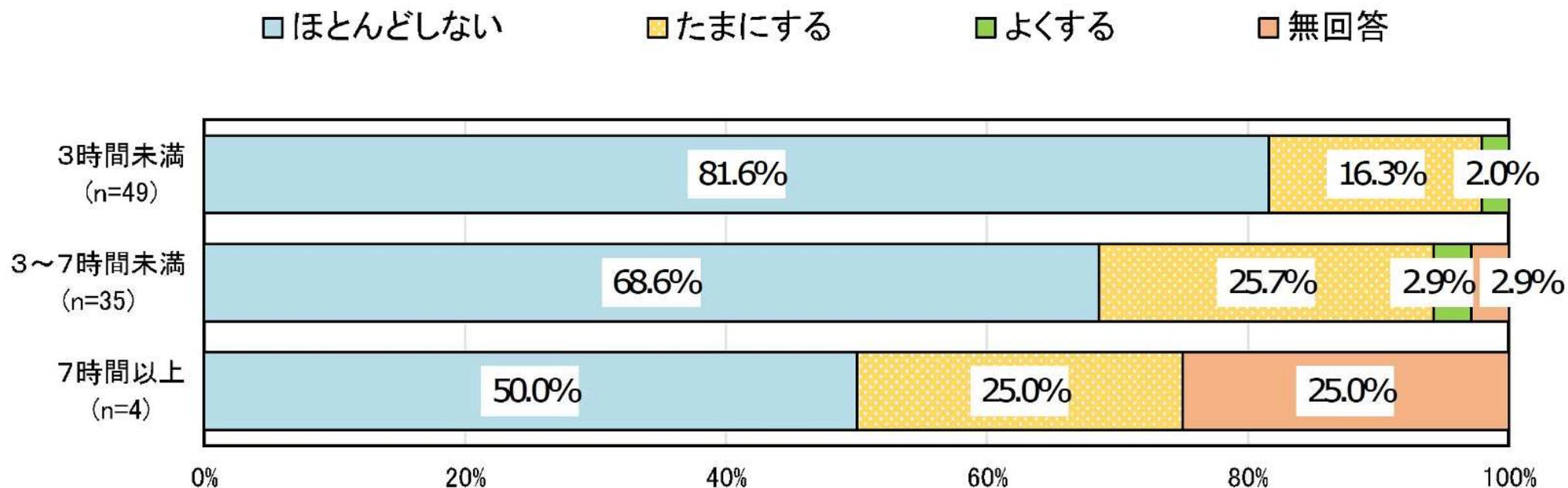
- 平日 1 日当たりの世話時間と学校の遅刻や早退の状況について分析。  
世話時間が長いほど、遅刻や早退の割合が高くなっている。



## 調査結果④-3(世話に費やす時間×遅刻・早退の状況(中学生))

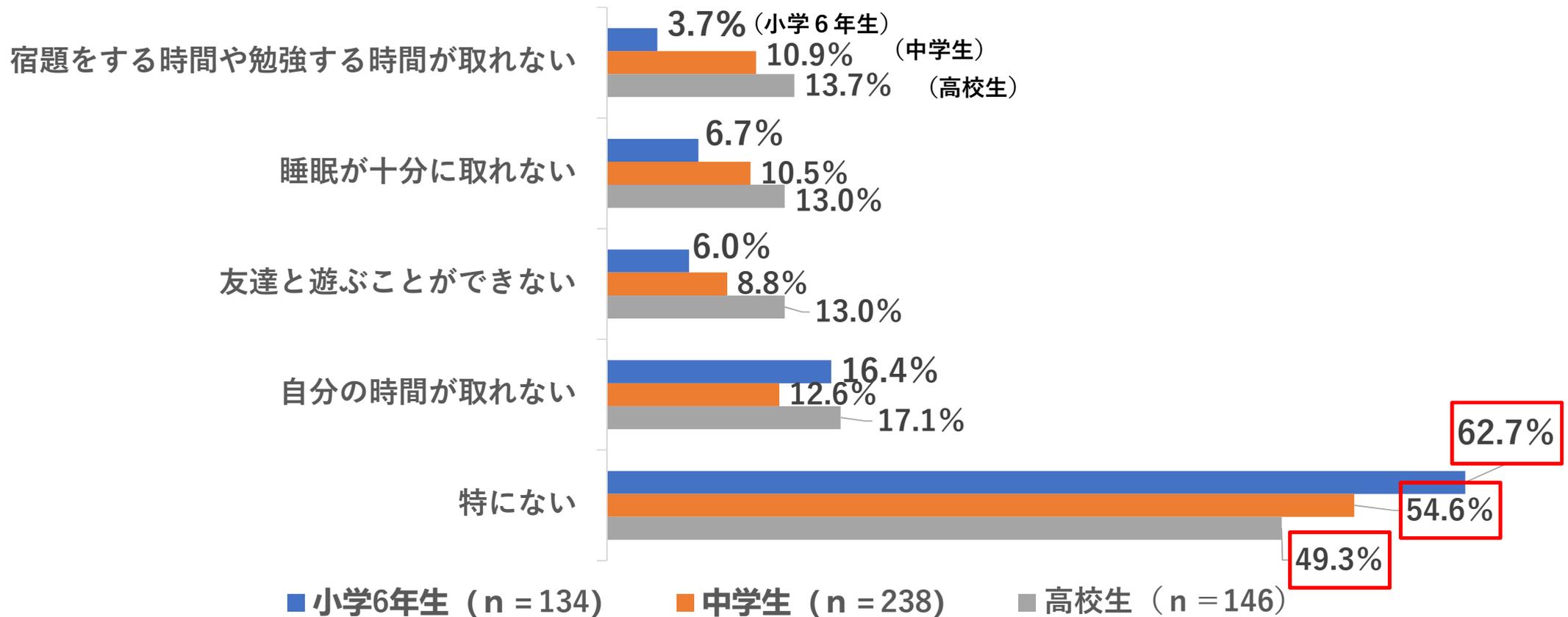


## 調査結果④-3(世話に費やす時間×遅刻・早退の状況(全日制高校生))



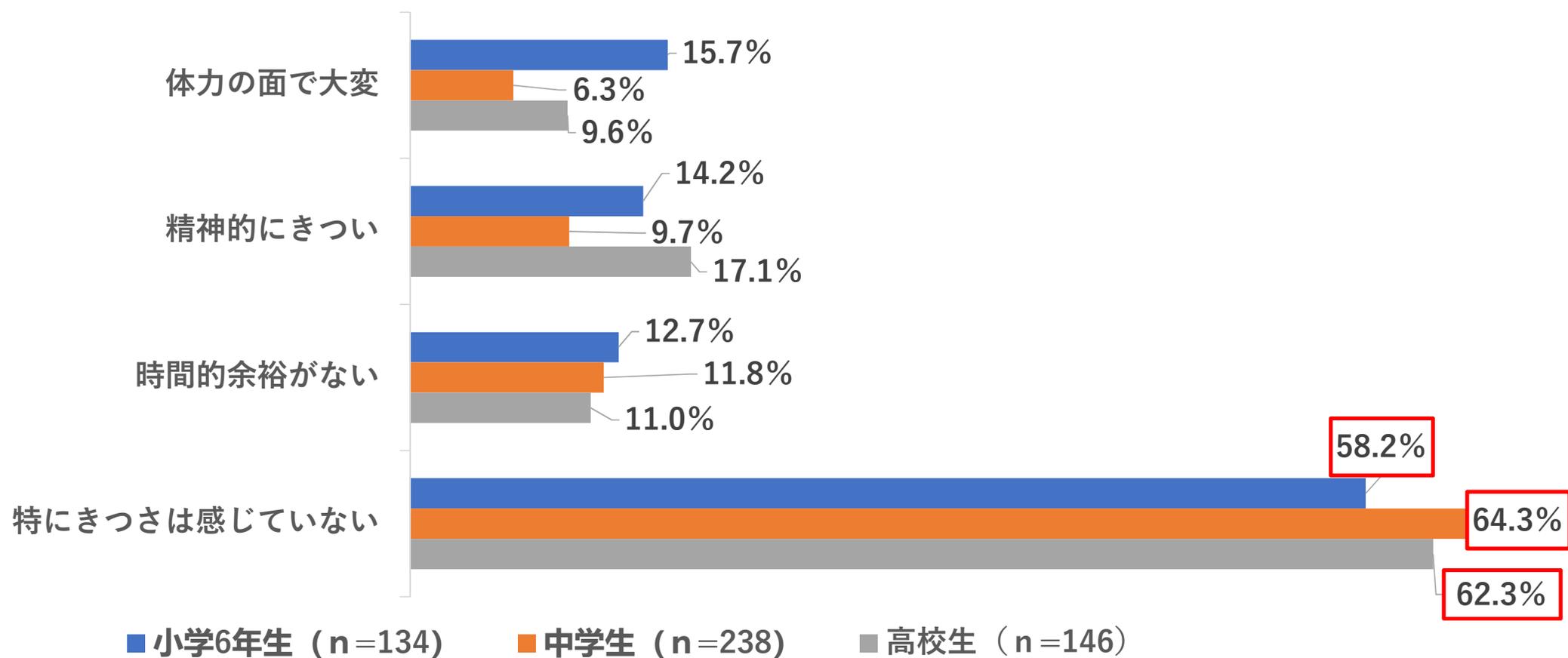
## 調査結果⑤(世話による制約)

- 世話による制約について質問 (複数回答)。  
→ 「特にない」が最も高い。



## 調査結果⑥(世話の大変さ)

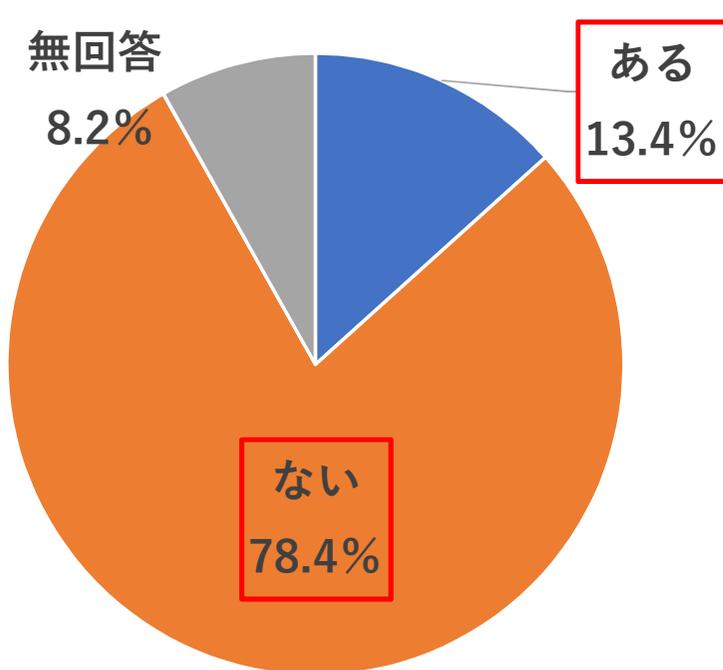
- 世話の大変さについて質問(複数回答)。  
→ 「特にきつさは感じていない」が最も高い。



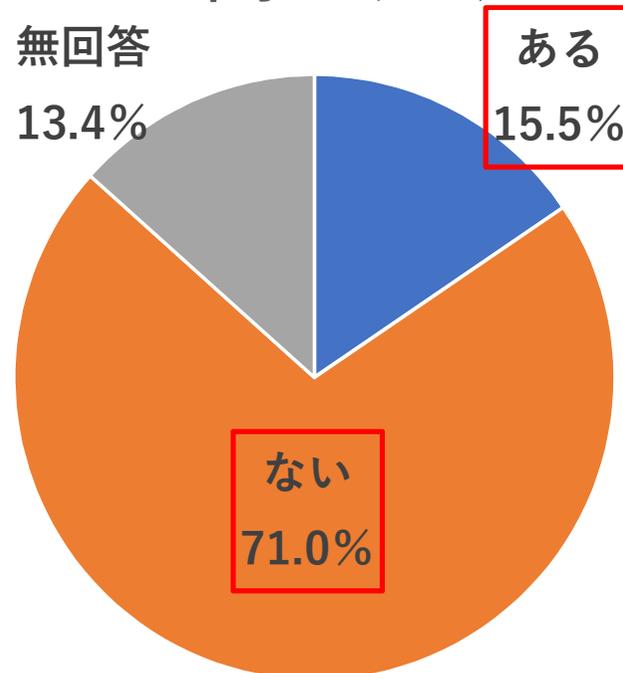
## 調査結果⑦(相談経験の有無)

- 世話をしている家族のことや世話の悩みを相談した経験の有無について質問。  
→ 相談した経験が「ある」が約1～2割, 「ない」が約6～7割。

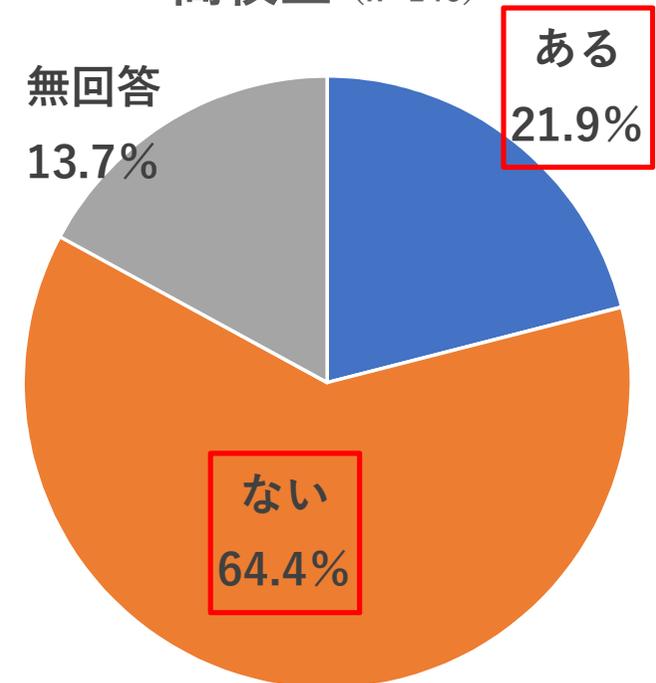
小学6年生 (n=134)



中学生 (n=238)

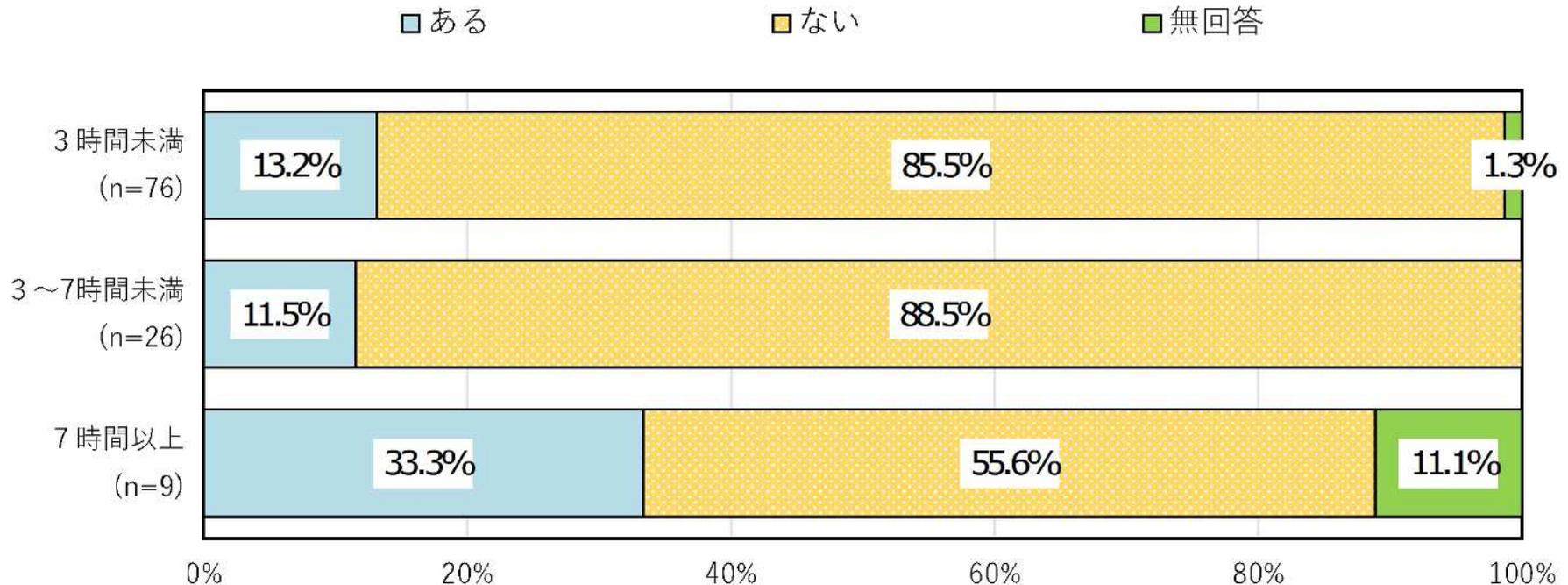


高校生 (n=146)

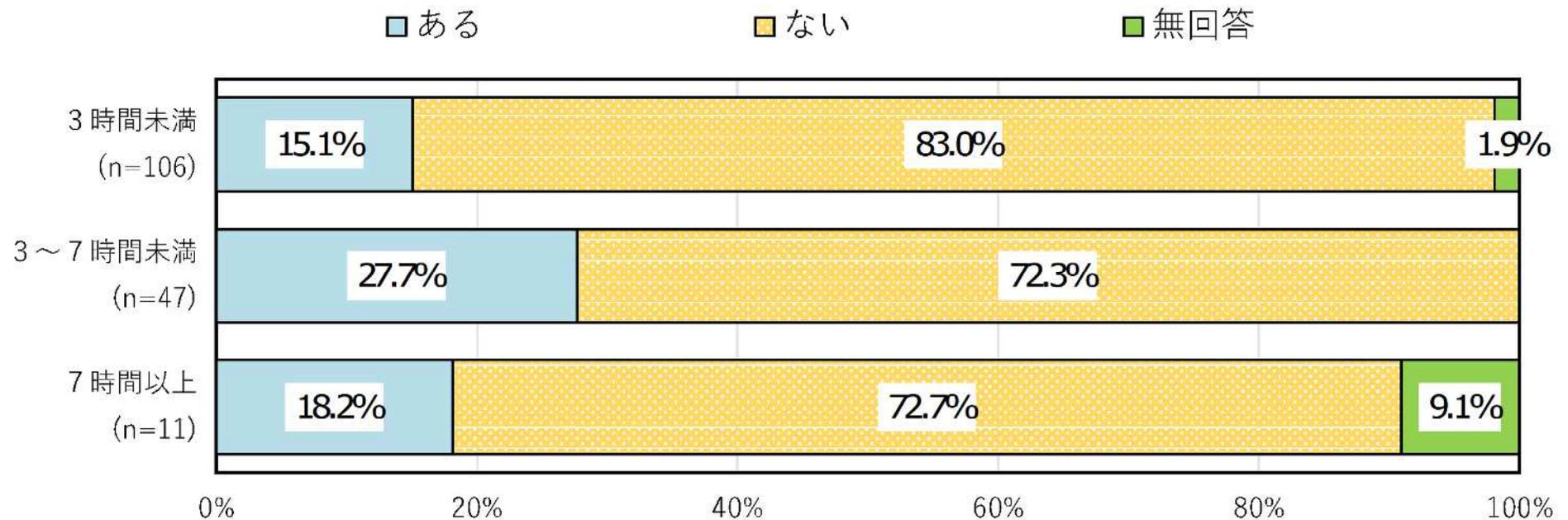


## 調査結果⑦-1(相談経験の有無×平日世話時間(小学6年生))

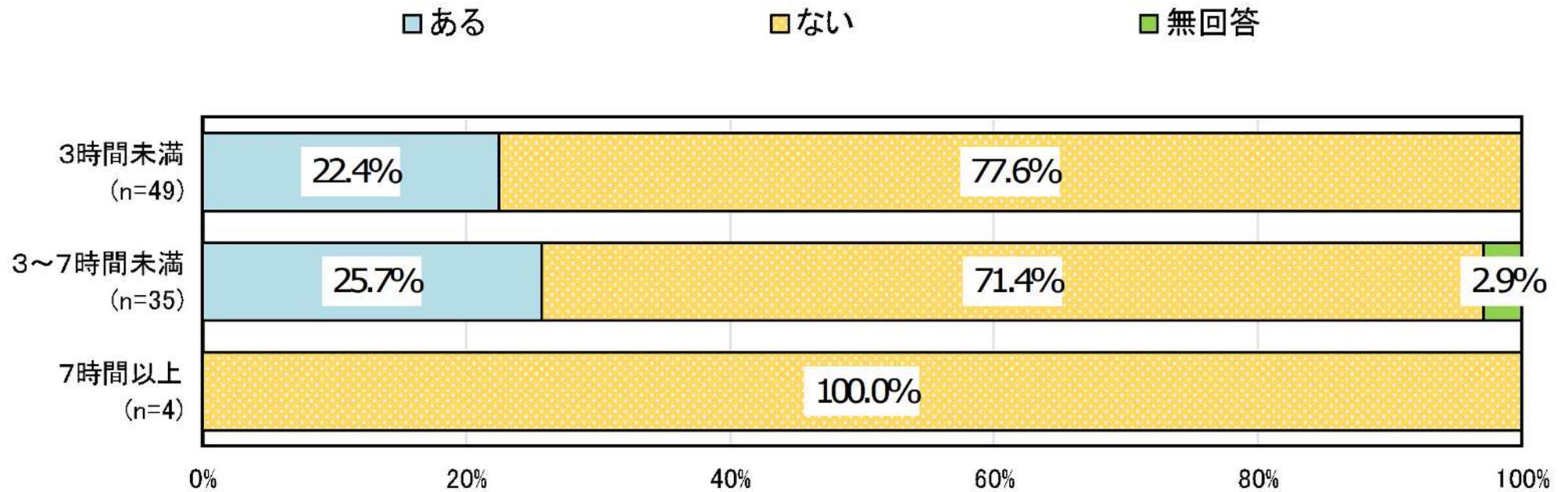
- 相談経験と平日1日当たりの世話時間の有無について分析。  
小学6年生では世話時間が増えるに伴い相談経験がある割合が高くなっている一方で、全日制高校生では7時間以上世話をしている全てが相談経験なしとなっている。



# 調査結果⑦-1 (相談経験の有無×平日世話時間(中学生))



## 調査結果⑦-1(相談経験の有無×平日世話時間(全日制高校生))



## 調査結果⑦-2(相談経験の有無×世話による制約(小学6年生))

- 相談経験の有無と世話による制約について分析。  
世話に関する相談をしたことがある場合は、ない場合に比べて多くの項目で割合が高くなっている。

	サンプル数 (n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間がたりない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
相談したことがある	18	22.2%	0.0%	11.1%	5.6%	27.8%	0.0%	27.8%	0.0%	50.0%	0.0%
相談したことがない	105	3.8%	1.9%	2.9%	7.6%	2.9%	1.0%	15.2%	0.0%	71.4%	3.8%

## 調査結果⑦-2(相談経験の有無×世話による制約(中学生))

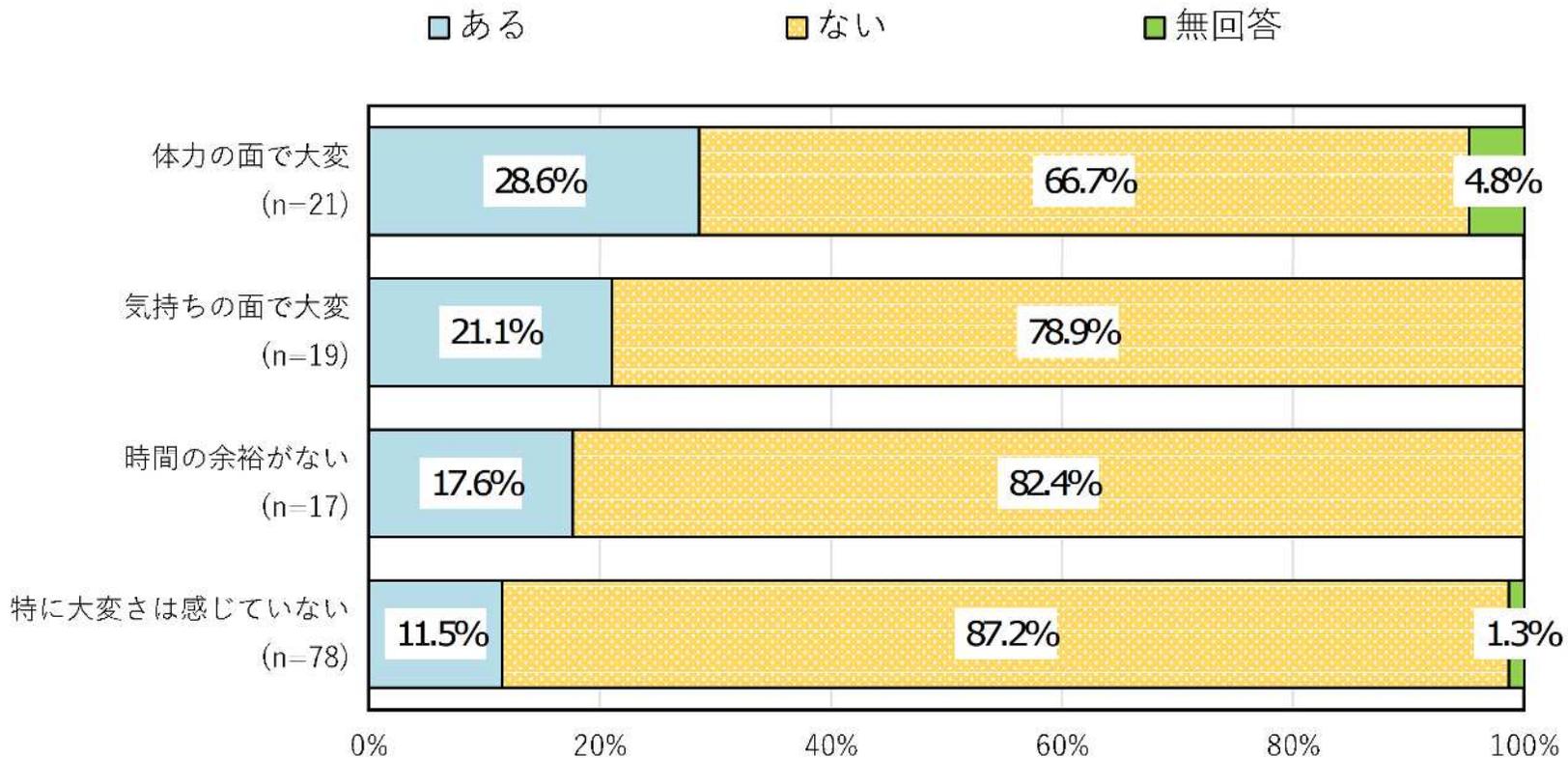
	サンプル数 (n)	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	(睡眠が十分にとれない) (眠る時間が足りない)	友達と遊ぶことができない	い、もしくは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない、もしくは進路を変えた	進路の変更を考えた	自分の時間が取れない	その他	特になし	無回答
世話に関する相談をしたことがある	37	0.0%	8.1%	16.2%	18.9%	8.1%	2.7%	8.1%	24.3%	0.0%	56.8%	0.0%	
世話に関する相談をしたことがない	169	0.6%	1.2%	11.8%	10.7%	9.5%	1.2%	1.2%	12.4%	0.0%	63.3%	8.9%	

## 調査結果⑦-2(相談経験の有無×世話による制約(全日制高校生))

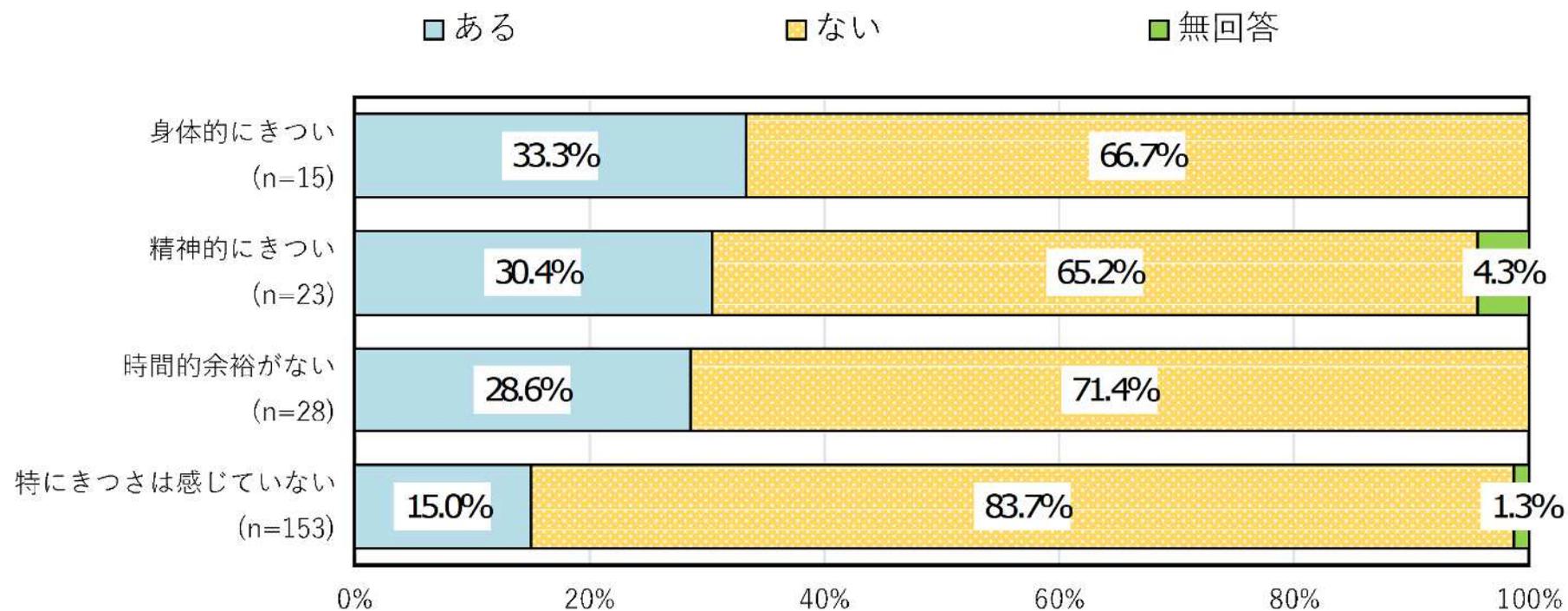
	サンプル数 (n)	学校に行きたくても行けない	どう早退しても学校を遅刻・早退してしまう	勉強する時間が取れない	宿題をする時間が取れない	睡眠が十分にとれない(眠る時間が足りない)	友達と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えた	自分の時間が取れない	その他	特になし	無回答
世話に関する相談をしたことがある	26	3.8%	7.7%	30.8%	26.9%	38.5%	3.8%	11.5%	46.2%	0.0%	26.9%	0.0%	
世話に関する相談をしたことがない	91	0.0%	2.2%	11.0%	11.0%	5.5%	1.1%	6.6%	8.8%	0.0%	69.2%	2.2%	

## 調査結果⑦-3(相談経験の有無×世話の大変さ(小学6年生))

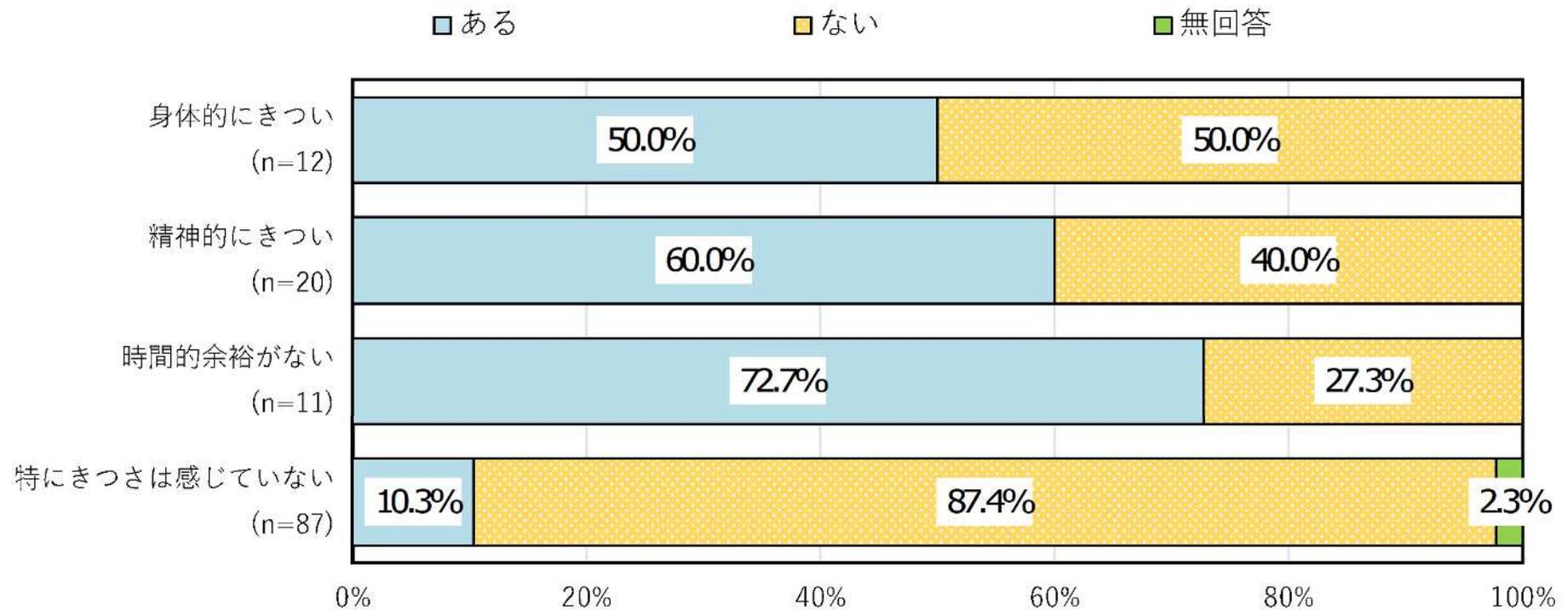
- 相談経験の有無と世話の大変さについて分析。  
小学6年生・中学生では体力の面で大変な場合に相談経験がある割合が高い一方で、全日制高校生は時間的余裕がない場合に相談経験がある割合が高い。



## 調査結果⑦-3 (相談経験の有無×世話の大変さ(中学生))

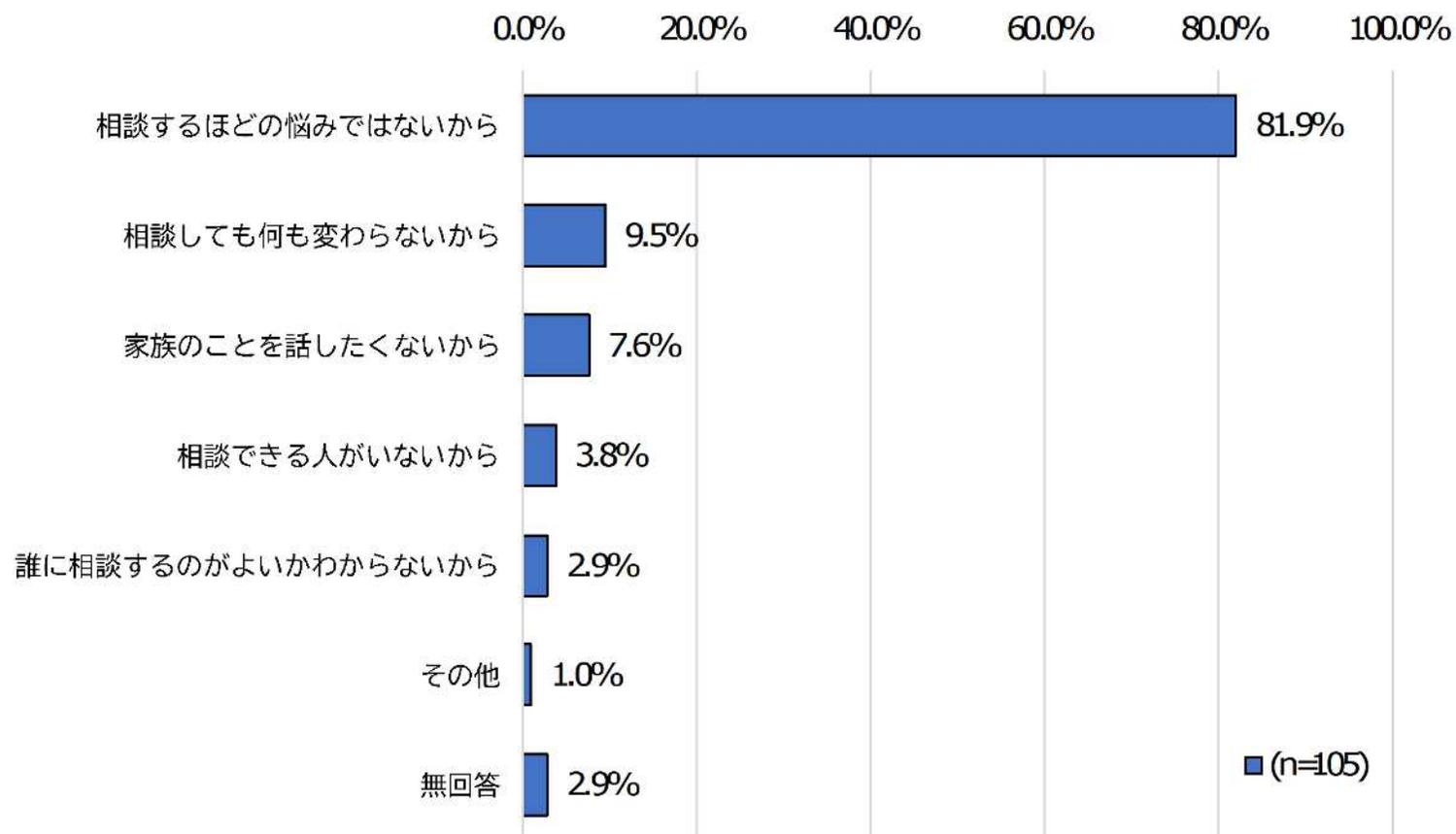


## 調査結果⑦-3(相談経験の有無×世話の大変さ(全日制高校生))

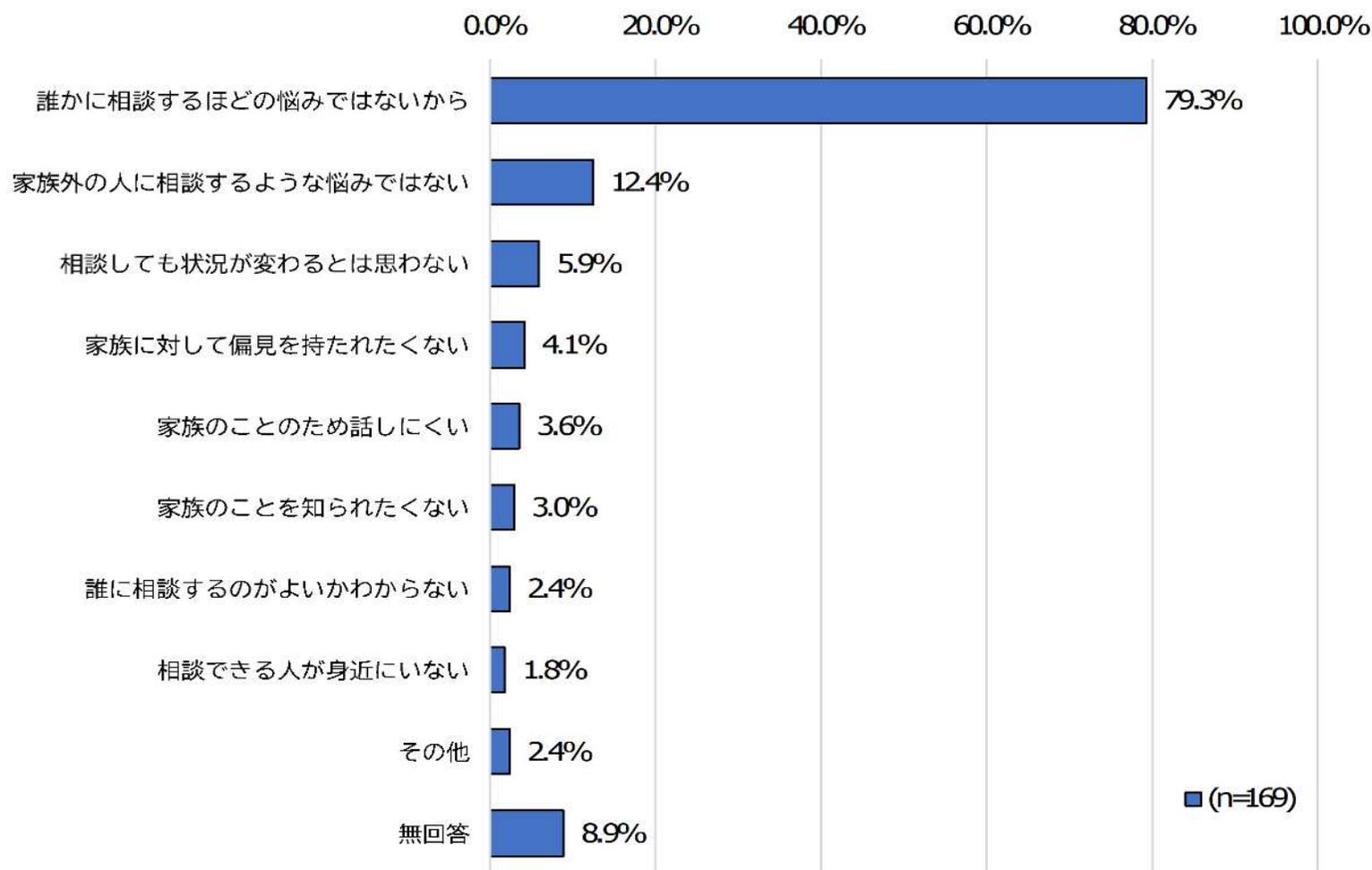


## 調査結果⑧(相談経験がない理由(小学6年生))

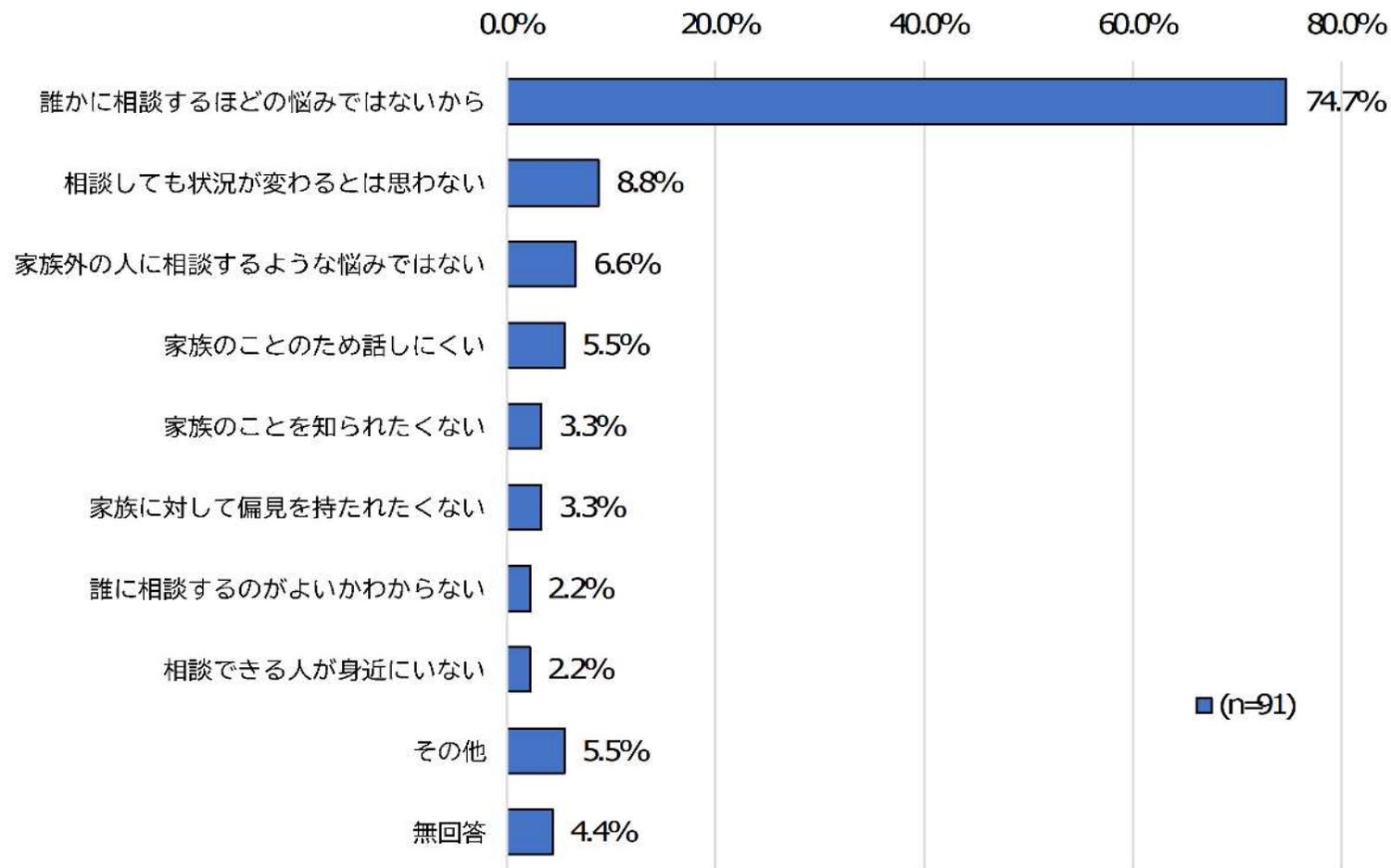
- 世話について相談した経験がない理由について質問（複数回答）。  
→ 「相談するほどの悩みではない」が最も高い。



## 調査結果⑧(相談経験がない理由(中学生))



## 調査結果⑧(相談経験がない理由(全日制高校生))



## 調査結果⑧-1(相談なし理由×世話の大変さ(小学6年生))

- 世話について相談をしたことがない理由と世話の大変さについて分析。  
 世話に大変さを感じている場合、小学6年生では「相談するほどの悩みではないから」が最も高いのに対し、全日制高校生は「相談しても何も変わらないから」の割合が比較的高くなっている。

	サンプル数 (n)	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
体力の面で大変	14	92.9%	7.1%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
気持ちの面で大変	15	53.3%	6.7%	20.0%	20.0%	26.7%	0.0%	0.0%
時間の余裕がない	14	50.0%	14.3%	14.3%	35.7%	28.6%	0.0%	0.0%
特に大変さは感じていない	68	88.2%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	1.5%	4.4%

## 調査結果⑧-1(相談なし理由×世話の大変さ(中学生))

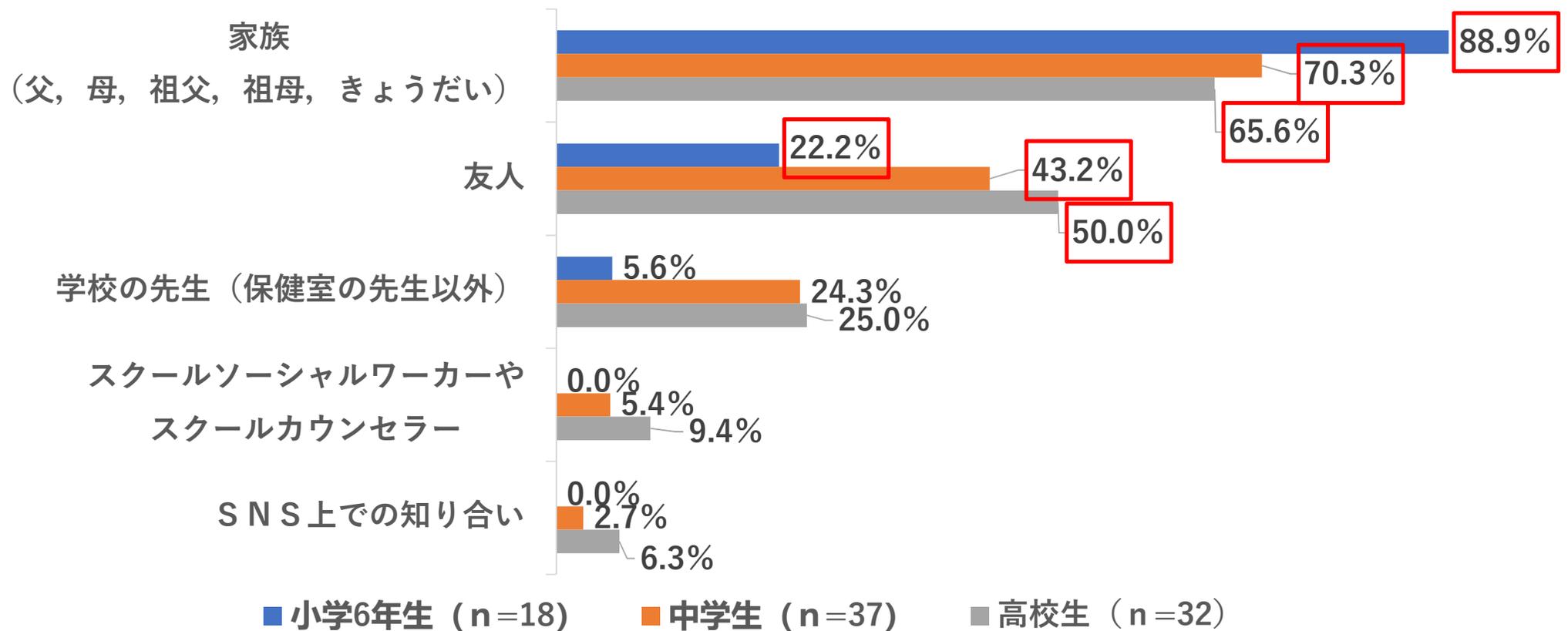
	サンプル数 (n)	誰かに相談するほどの悩みではないから	家族外の人に相談するよ うな悩みではない	誰に相談するのがよいか わからない	相談できる人が身近にい ない	家族のこのため話しに くい	家族のことを知られたく ない	家族に対して偏見を持た れたくない	相談しても状況が変わる とは思わない	その他	無回答
身体的にきつい	10	80.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%
精神的にきつい	15	60.0%	33.3%	26.7%	13.3%	20.0%	20.0%	20.0%	33.3%	0.0%	6.7%
時間的余裕がない	20	85.0%	25.0%	15.0%	5.0%	15.0%	20.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%
特にきつさは感じていない	128	84.4%	9.4%	0.0%	0.8%	1.6%	0.8%	0.8%	2.3%	2.3%	6.3%

# 調査結果⑧-1(相談なし理由×世話の大変さ(全日制高校生))

	サンプル数 (n)	誰かには相談するほどの悩みではないから	家族外の人には相談するよ様な悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思わない	その他	無回答
身体的にきつい	6	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
精神的にきつい	8	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%
時間的余裕がない	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
特にきつさは感じていない	76	80.3%	6.6%	1.3%	1.3%	3.9%	2.6%	1.3%	6.6%	5.3%	3.9%

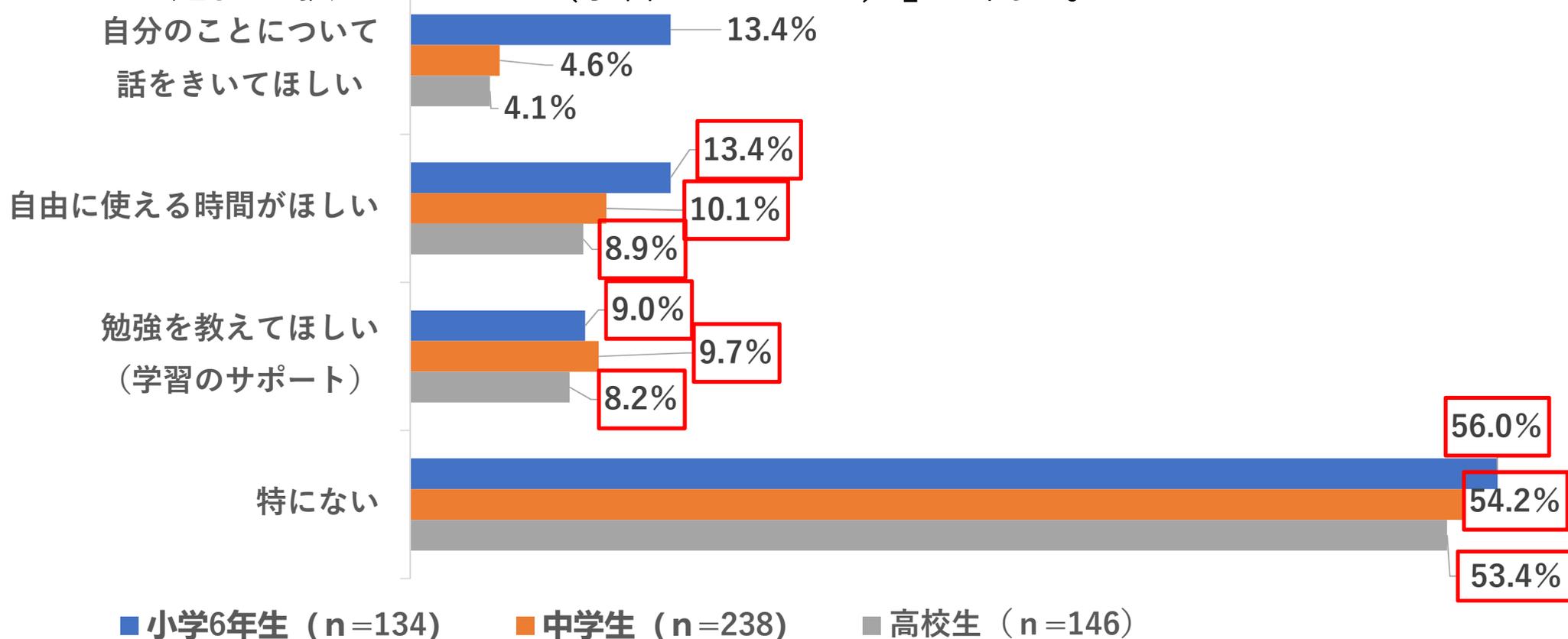
## 調査結果⑨(相談相手)

- 世話について相談した相手について質問（複数回答）。  
→ 「家族（父，母，祖父，祖母，きょうだい）」が最も高く，次いで「友人」が高い。



## 調査結果⑩(学校や大人にしてもらいたいこと)

- 学校や大人にしてもらいたいこと(必要な支援)について質問(複数回答)。  
→ 「特にない」が最も高く、それ以外では「自由に使える時間がほしい」,  
「勉強を教えてほしい(学習のサポート)」が高い。

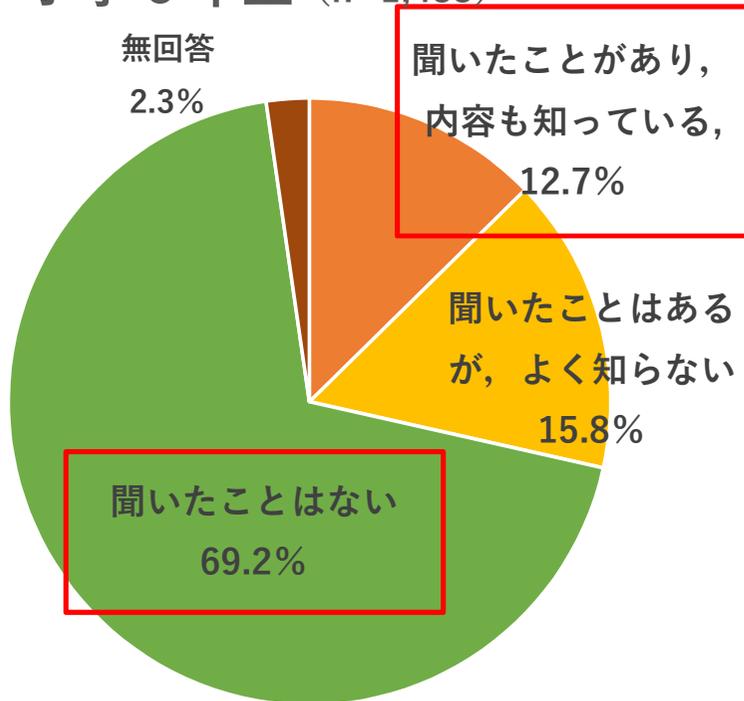


## 調査結果⑪(ヤングケアラーの認知度)

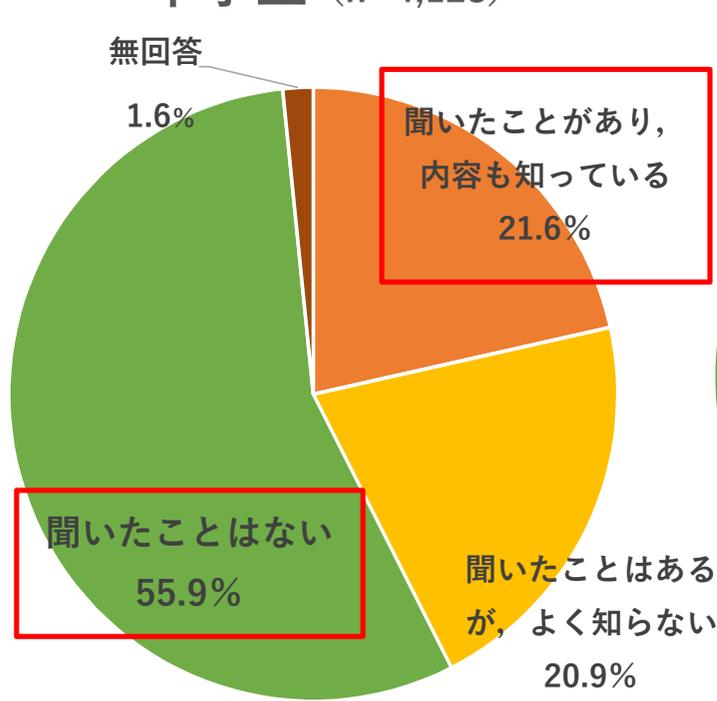
○ ヤングケアラーの認知度について質問。

→ 「聞いたことはない」が約5割を占め、「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した割合は、小学6年生で12.7%、中学生で21.6%、高校生で25.8%。

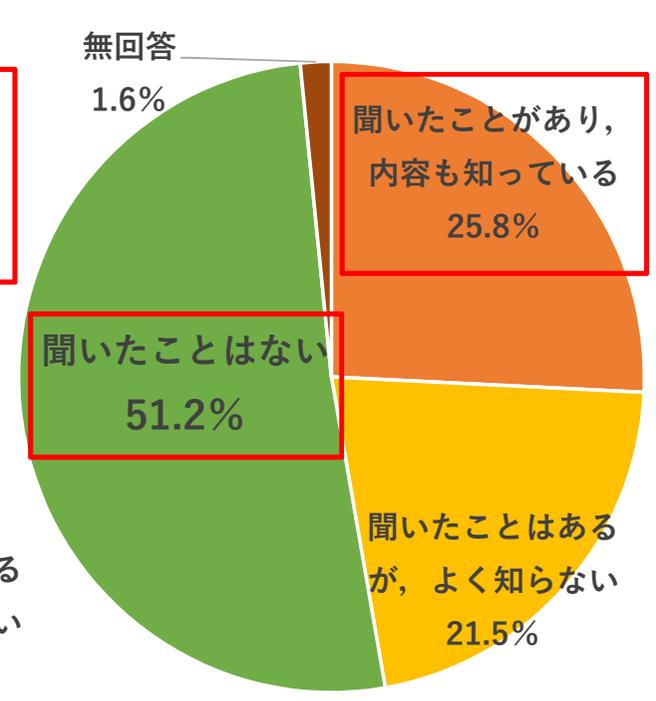
小学6年生 (n=1,433)



中学生 (n=4,128)



高校生 (n=3,853)



## 調査結果⑫(ヤングケアラーであることの認識)

- 自分がヤングケアラーにあてはまるかについて質問。  
→ 「あてはまらない」が約8割を占めた一方で、「わからない」も1割程度ある。

